

発行所
 株式会社 セキュリティ産業新聞社
 〒101-0051
 東京都千代田区神田神保町
 1-41-1
 電話 03-5282-8882
 F A X 03-5282-8992
 購読料 1年間 45,000円
<http://www.secu354.co.jp/>

ネットワークカメラを
 かんたんモニタリング
エルーア
 NEW
 エルーアV
 H.265 対応
 カメラ最大
 16台接続
 クラス
 最高描画

- カメラマルチベンダー対応
- 多彩な分割表示
- 無線リモコンでかんたん操作
- ファームウェアでメンテナンス性UP
- PCから外部制御設定・操作

株式会社エルーア・システム
 TEL:(045)332-6810
<http://aileunsys.co.jp/>

情報共有と活用は効果的

「渋谷プロジェクト」 開始は年明けに

全国万引犯罪防止機構

全国万引犯罪防止機構（東京都新宿区、TEL 03-3365-2322）以下、万防機構）の竹花豊理事長は、12月5日に開催されたJ.E.A.S.（日本万引防止システム協会）第4回理事会で、防犯情報の共有や有効活用に関する万防機構の取り組みの進捗状況などを説明。万引き対策として期待される顔認証システムの運用例として、関係各方面から注目されている、地域の書店間で防犯情報を共有する取り組み「渋谷プロジェクト」の

開始は、参画企業の組織改編などに伴い、来年以降となったことなどが報告された。米国では一部の大手ドラッグストアで、顔認証システムを組み合わせた運用が行われている。日本の小売業の間でも防犯カメラ、E.A.S.の設置に加え、顔認証システムの導入に対する関心が高まりつつある。

この問題に関しては慎重な検討が余儀なくされる」と指摘するとともに、個人的な考えとして、「この仕組みは万引きを防ぐための手法に過ぎない。商売のために画像を利用するものは、全く性質が異なる。ハードルは低くあるべきである」との考えを示した。

併せて、顔認証システムの運用でミスが生じた場合には、人権侵害などの問題が生じるリスクとの認識を示し、「そのミスをどういう風に少なくするのかわからない。色々な工夫をする必要がある」と述べた。昨年、個人情報保護法が改正され、施行さ

れたが、万防機構では有識者と問題点などを検討して、防犯情報の共同利用を明文化した報告書を取り纏めている。

近年の万引き犯罪は、近隣エリアの複数店舗で万引きを繰り返す傾向が見られる。だが、同一企業内、同業他社間や近隣エリア内における情報共有の取り組みは限定的なのが実情。6月に開催された万防機構の総会で



竹花理事長



理事会風景

関係各方面からは、地域における防犯体制の構築と防犯情報の共有という観点で、「渋谷プロジェクト」の動向に関心が高まっている。

今回、竹花理事長は、6月開始予定だった渋谷プロジェクトは、未だに



株式会社 株式会社エイズ eizo.co.jp

万引対策百般・TOKYO立（だ）ち
 事業展開へコミック活用
 サイバー脅威を公開
 注目の新製品
 セコム・日本初の家庭用サービス

万引き対策として、被害者である小売業者間で防犯情報を共有して活用する流れが加速すれば、組織的な万引犯罪の摘発も進む可能性もある。こうした点からも、「渋谷プロジェクト」の動向が引き続き注目される。

約7割がトラブルに不安 インターネットの安全・安心に関する世論調査

内閣府

内閣府は全国18歳以上の3000人を対象に実施した、インターネットの安全・安心に関する世論調査の概要を発表。インターネットのトラブルについて、約7割が不安があると回答。不安を払拭する対策への理解は、なかなか進まないことが浮かび上がる結果となった。

今回の調査は、インターネットの安全・安心に関する国民の意識を把握することで、施策の参考とすることを目的に実施。

インターネット利用に関連するトラブルについて、過去2回の調査と比較すると、「不安はある」と回答する人が増加している。「不安はある」と回答したのは、男性64.6%、女性70.2%。年齢層別では、50〜59歳が82.0%で最も多い。

トラブルで不安があることとして（複数回答）、「個人情報流出すること」79.6%、「詐欺などにあつて金品などを取られること」51.7%、「子どもや家族が危険な目に遭つこと」45.2%、「SNSやブログなどで誹謗中傷を受けること」36.6%という回答が多い。インターネットのトラブルについて、不安を感じている人は、男性64.6%、女性70.2%、年齢層別では、50〜59歳が82.0%で最も多い。

インターネットを利用するための不安を払拭する対策への理解は、なかなか進まないことが浮かび上がる結果となった。

今回の調査は、インターネットの安全・安心に関する国民の意識を把握することで、施策の参考とすることを目的に実施。

インターネット利用に関連するトラブルについて、過去2回の調査と比較すると、「不安はある」と回答する人が増加している。「不安はある」と回答したのは、男性64.6%、女性70.2%。年齢層別では、50〜59歳が82.0%で最も多い。

トラブルで不安があることとして（複数回答）、「個人情報流出すること」79.6%、「詐欺などにあつて金品などを取られること」51.7%、「子どもや家族が危険な目に遭つこと」45.2%、「SNSやブログなどで誹謗中傷を受けること」36.6%という回答が多い。インターネットのトラブルについて、不安を感じている人は、男性64.6%、女性70.2%、年齢層別では、50〜59歳が82.0%で最も多い。